

かがやく瞳



楽しかった 火消しもち祭り

先日の21日(日)は通称「火消しもち祭り」、正式名称「第70回古四王神社文化財防火デー・第37回古四王堂火消しもち祭り」を、予定通り行うことができました。昨年同様に実際に6年生が雪中田植えを行い、子どもたち全員が餅をつき、学年ごとに天筆を焼いて願いを届けました。最後には校歌の2番を歌い、地域の皆様に聞いていただくことができました。1月の中旬に行われた打合せで、「火消しもち祭り」の際には「古四王堂」を「こしょどう」と読むことが正式だと教えていただきました。皆様はご存じでしたか？

何かの催し物を行うことには、開催するにあたり多くの負担が伴います。しかし、学校では子どもたちがこの地で育ち成長していくためには、省略することのできないことと捉えて実施しております。今回も、PTA保体部、保護者ボランティアの皆様の協力のおかげで実施することができました。

みんなで集まって準備をし、防火訓練、餅つき、天筆焼き、校歌合唱を行った楽しい思い出が、私たちの支えになると信じています。このような行事を行うことができたことに大きな意義と感謝を感じます。休日にも関わらずご協力くださいました皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

引き続きスキー授業やスキー教室でもご面倒をおかけいたします。どうかよろしく願いいたします。



【前日準備がんばっていただきました】



【放水消火訓練 5年生全員が経験】



【6年代表誓いの言葉 りっぱでした】



【雪中田植え 初めての体験】



【願いを込めて 天筆焼き】



【餅つき 杵の重さも初体験?】



【校歌を古四王さんに届けました】